

# 第70期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

# Asahi-Seiki

旭精機工業株式会社  
証券コード：6111

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第70期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月



取締役社長

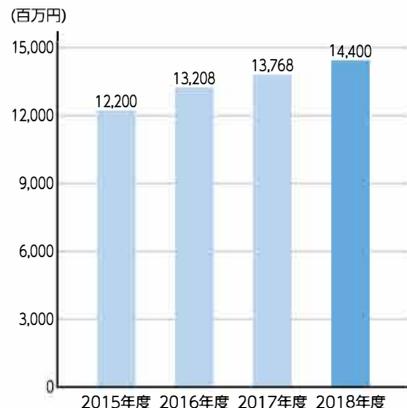
山口 央

## 事業の全般的状況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が続き、緩やかな回復基調を示したものの、各国の通商政策をはじめとする海外経済の不確実性への懸念等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社は、積極的な営業活動を展開するとともに、工場等への設備投資による生産能力の増強や更なるコスト削減に注力してまいりました結果、売上高は144億円と前期比4.6%

### ■売上高



### ■営業利益



### ■経常利益



の増加、営業利益は5億6千4百万円と前期比13.0%の増加、経常利益は6億1千8百万円と前期比7.4%の増加となりました。当期純利益につきましては、保有する投資有価証券の一部を売却したことにより特別利益を計上したため、7億6千4百万円と前期比105.4%の増加となりました。

## 設備投資の状況

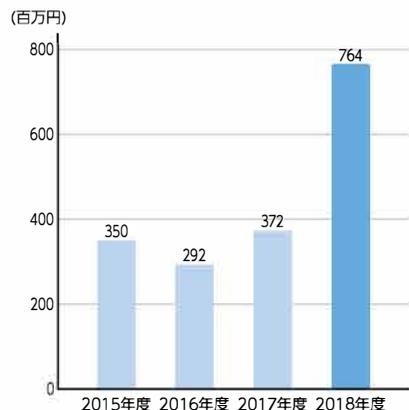
当期中に実施いたしました設備投資は総額14億8千7百万円で、その主なものは金属加工機械製造設備の拡充・合理化に8億1千9百万円、精密金属加工品製造設備の拡充・合理化に4億1千6百万円及び小口径銃弾製造設備の更新に1億2百万円であります。

## 対処すべき課題

今後のわが国経済は、雇用・所得環境に改善傾向が続き、緩やかな回復基調をとるものの、中国経済の先行きや海外経済の動向が不透明な状況にあるなか、楽観視できない状況が続くものと思われま

す。このような情勢に対処するため、当社は、引続き、積極的な営業活動を推進するとともに、生産性の向上及びコスト削減の徹底を図り、業績の向上に向け鋭意努力してまいります。

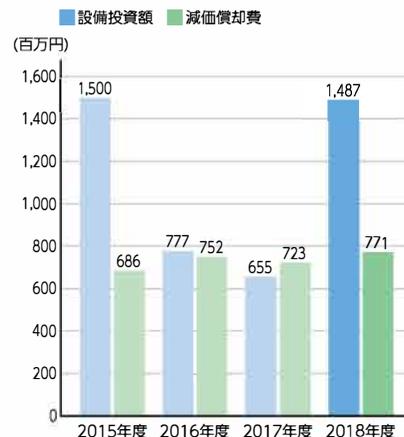
### ■当期純利益



### ■総資産・純資産・自己資本比率



### ■設備投資額・減価償却費



## 部門別状況等

精密加工事業部における当期の売上高は、75億4千2百万円と前期比5.7%の増加、機械事業部における当期の売上高は、68億5千7百万円と前期比3.4%の増加となりました。

その内容は以下のとおりです。

### 機械事業部

売上高 **68億円**  
(47.6%)



### 精密加工事業部

売上高 **75億円**  
(52.4%)

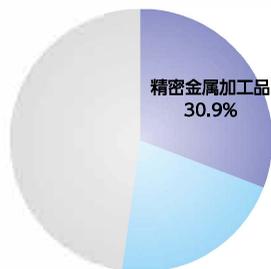


2018年度  
売上高  
**144億円**

## ■精密加工事業部

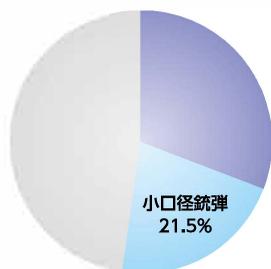
### ① 精密金属加工品

当期の売上高は、自動車関連部品が増加したことから、44億4千2百万円と前期比4.6%の増加となりました。



### ② 小口径銃弾

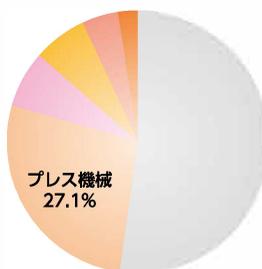
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、31億円と前期比7.4%の増加となりました。



## ■ 機械事業部

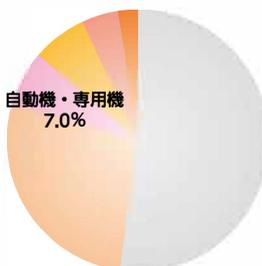
### ① プレス機械

当期の売上高は、主にリチウムイオン電池缶製造用プレスの輸出が増加したことから、38億9千8百万円と前期比15.3%の増加となりました。



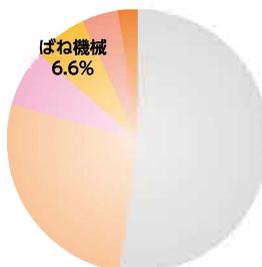
### ② 自動機・専用機

当期の売上高は、上期における主要構成部品の不足による影響等を受け、10億7百万円と前期比30.9%の減少となりました。



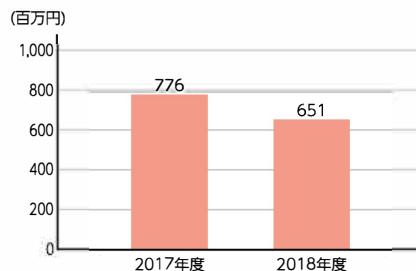
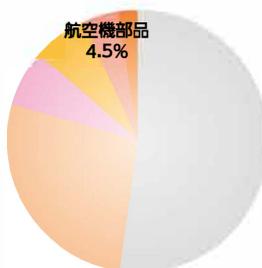
### ③ ばね機械

当期の売上高は、自動車関連向けの減少等により、9億5千万円と前期比1.6%の減少となりました。



### ④ 航空機部品

当期の売上高は、旅客機用部品が減少したことから、6億5千1百万円と前期比16.2%の減少となりました。



## 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第69期 ( 2018年3月31日現)	第70期 (在) 2019年3月31日現
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,701,843</b>	<b>10,635,344</b>
現金及び預金	5,046,500	2,990,116
受取手形	175,080	82,605
電子記録債権	1,057,628	1,022,592
売掛金	2,446,142	2,924,954
製品	149,591	148,630
仕掛品	2,209,764	2,691,767
原材料及び貯蔵品	557,824	695,981
前払費用	26,171	29,033
その他	39,539	56,063
貸倒引当金	△6,400	△6,400
<b>固定資産</b>	<b>8,880,153</b>	<b>8,396,196</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,524,356</b>	<b>5,226,676</b>
建物	1,900,019	2,188,177
構築物	208,130	265,496
機械及び装置	1,519,539	1,809,585
車両運搬具	37,517	36,721
工具器具備品	130,219	147,715
土地	604,142	615,104
リース資産	23,978	16,248
建設仮勘定	100,808	147,627
<b>無形固定資産</b>	<b>102,104</b>	<b>105,921</b>
ソフトウェア	83,965	92,968
リース資産	16,334	11,148
その他	1,803	1,803
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,253,692</b>	<b>3,063,598</b>
投資有価証券	3,258,557	2,862,843
関係会社株式	868,014	10,000
破産更生債権等	591	298
長期前払費用	336	35,543
前払年金費用	—	28,410
その他	126,783	126,801
貸倒引当金	△591	△298
<b>資産合計</b>	<b>20,581,996</b>	<b>19,031,541</b>

科 目	第69期 ( 2018年3月31日現)	第70期 (在) 2019年3月31日現
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,883,130</b>	<b>4,974,139</b>
支払手形	223,497	222,781
電子記録債務	1,683,947	2,052,632
買掛金	730,006	782,316
短期借入金	900,000	900,000
リース債務	13,942	10,449
未払金	499,449	324,366
未払費用	105,865	94,846
未払法人税等	193,052	212,518
前受金	150,971	41,400
預り金	45,283	38,933
賞与引当金	315,146	263,894
役員賞与引当金	21,967	30,000
<b>固定負債</b>	<b>1,418,342</b>	<b>1,132,996</b>
リース債務	29,588	19,138
繰延税金負債	529,993	216,424
退職給付引当金	728,494	770,022
その他	130,265	127,410
<b>負債合計</b>	<b>6,301,472</b>	<b>6,107,135</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>11,958,570</b>	<b>11,442,525</b>
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
資本準備金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	4,661,209	5,226,438
利益準備金	449,500	449,500
その他利益剰余金	4,211,709	4,776,938
別途積立金	2,392,500	2,392,500
繰越利益剰余金	1,819,209	2,384,438
<b>自己株式</b>	<b>△346,258</b>	<b>△1,427,532</b>
<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,321,953</b>	<b>1,481,880</b>
その他有価証券評価差額金	2,321,953	1,481,880
<b>純資産合計</b>	<b>14,280,523</b>	<b>12,924,405</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>20,581,996</b>	<b>19,031,541</b>

※第70期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したため、第69期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

## Point ① 現金及び預金

主に、自己株式の取得、新組立工場の建設及び大型加工設備の新設等により、前期よりも20億5千6百万円減少しております。

## Point ② その他有価証券評価差額金

主に、2019年3月31日現在の保有株式を時価で評価したことによる評価益の減少及び投資有価証券の一部を売却したことにより、前期よりも8億4千万円減少しております。

## ■ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第69期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	第70期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
③ 売上高	13,768,641	14,400,412
売上原価	11,745,507	12,220,968
売上総利益	2,023,133	2,179,444
販売費及び一般管理費	1,523,880	1,615,204
営業利益	499,253	564,240
営業外収益	103,902	93,847
受取利息	488	566
受取配当金	47,906	52,487
雑収入	55,507	40,792
営業外費用	27,188	39,215
支払利息	4,850	4,940
雑支出	22,337	34,275
経常利益	575,967	618,872
特別利益	19,878	459,765
④ 投資有価証券売却益	—	449,987
固定資産売却益	19,878	9,777
税引前当期純利益	595,845	1,078,637
法人税、住民税及び事業税	253,510	302,178
法人税等調整額	△29,678	12,200
当期純利益	372,013	764,258

### Point ③ 売上高

プレス機械、小口径銃弾、精密金属加工品等の売上が増加したことにより、6億3千1百万円の増収となりました。

### Point ④ 投資有価証券売却益

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、4億4千9百万円を計上しております。

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第69期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	第70期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
⑤ 営業活動による キャッシュ・フロー	965,177	212,732
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△435,202	△476,745
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	△185,820	△1,292,798
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△34	427
現金及び現金同等物 の増減額	344,120	△1,556,384
現金及び現金同等物 の期首残高	4,202,379	4,546,500
現金及び現金同等物 の期末残高	4,546,500	2,990,116

### Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却で5億3千9百万円及び定期預金の払戻により5億円それぞれ収入があったものの、新組立工場の建設及び大型加工設備の新設等で14億8千7百万円支出したことにより、4億7千6百万円減少しました。

### Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、自己株式の取得で10億8千1百万円及び配当金の支払いで1億9千8百万円支出したことにより、12億9千2百万円減少しました。

## プレス機械の売上が過去最高を記録

当期におけるプレス機械の売上高は38億9千8百万円と、前期の33億8千万円に引続き、2期連続で過去最高記録を更新しました。

昨今、地球温暖化をはじめとする環境問題が声高に叫ばれ、世界中の自動車業界において、環境対策の強化が進んでいます。



プレス機械 [ITP-60]

このような状況下、環境に負荷を与えない電気自動車を中心に、自動車の電動化の流れが世界的に加速しており、電気自動車の車載用リチウムイオン電池缶を製造する当社のプレス機械は、特に中国や韓国といったアジア市場への輸出が増加しております。

車載用リチウムイオン電池は金属缶タイプでは円筒型電池と角型電池に大別できますが、当社のプレス機械は、双方の電池缶製造に対応できる様ラインナップを揃えております。

今後も、時代の流れとお客さまのニーズに沿った製品開発を進めてまいります。

## 第3組立工場及び新部品倉庫の竣工



第3組立工場

2018年9月10日に、本社敷地内において第3組立工場の竣工式を行いました。

第3組立工場は、車載用リチウムイオン電池需要の急伸を背景に、増大するプレス機械の受注に対応するために建設いたしました。

特長としましては、工場内に60tホイスト式天井クレーンを導入し、大型電池缶プレス機械の移動にスムーズに対応し、生産性の一層の向上を実現いたしております。

また、第3組立工場の建設用地を確保するため、旧部品倉庫を取り壊し、これに代わる新部品倉庫を建設いたしました。新部品倉庫は旧部品倉庫と比較して、約1.8倍の収納が可能で、プレス機械の受注増により増大した部品の供給を、よりスムーズにかつ迅速に行うことが可能となりました。

これらの生産体制の増強により、今後更に進んでいく自動車の電動化に伴い、ますます増加するプレス機械の需要に応えてまいります。



新部品倉庫 (第3部品倉庫)

## 名証IRエキスポ2018へ出展

2018年7月20日～21日の2日間、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）において開催されました「名証IRエキスポ2018」に出展いたしました。名証IRエキスポは、投資家が上場企業に直接触れることができる日本最大級のIRイベントです。25回目を迎えた昨年は、連日の猛暑にもかかわらず、2日間で延べ来場者数は8,300名、初出展であった当社ブースにも200名近い方にご来場いただきました。



ミニ説明会の様子

当社ブースでは、ミニ説明会や面談を通して、会社概要や事業内容、企業業績、事業計画、新製品情報などをご案内し、ご来場者からたくさんのご意見や、ご期待・応援の声を頂戴しました。

また、本年につきましても、既に当社ホームページにて告知させていただいておりますが、2019年7月19日～20日の2日間、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）において開催される「名証IRエキスポ2019」へ出展予定でございます。たくさんの株主の皆さまのご来場をお待ちしております。

## 株主優待制度の導入

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社の株式を保有していただくために、株主優待制度を導入いたしました。

### (1) 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

### (2) 優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	クオカード 1,000円分

### (3) 謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

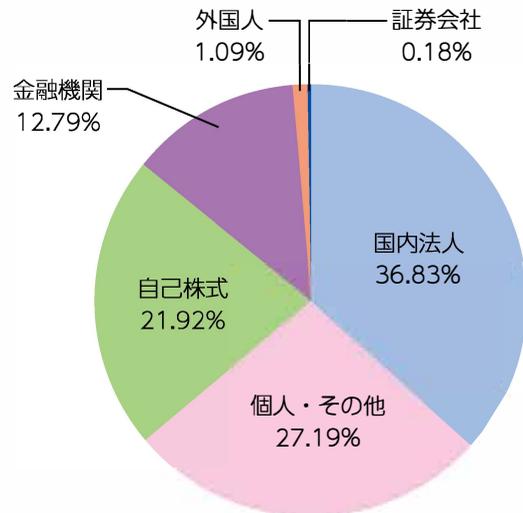


# 株式の状況

(2019年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,203名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

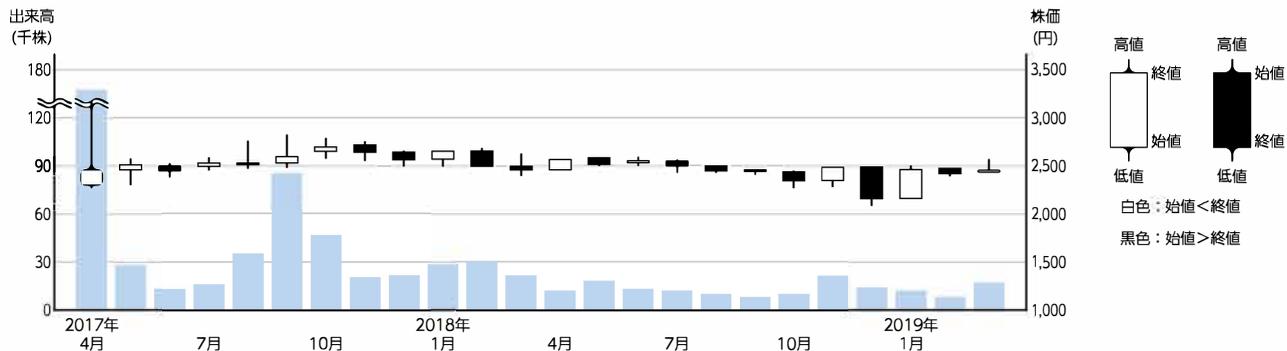
■所有者別株式分布 (2019年3月31日現在)



株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.89%
旭化成株式会社	168,900	7.00%
オークマ株式会社	120,000	4.97%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.93%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.39%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.58%
岡谷銅機株式会社	84,600	3.50%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.34%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.86%
知多鋼業株式会社	40,000	1.65%

(注) 持株比率は、自己株式 (676千株) を控除して計算しております。

## ■出来高及び株価の推移



(注) 2017年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。株式併合以前の出来高及び株価は、併合後の値に調整して表示しています。

# 会社の概要

## ■会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	旭精機工業株式会社 (ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立	1953年8月11日
資本金	41億7千5百万円
事業内容	精密金属 加工品、小口径銃弾、プレス機械、 自動機・専用機、ばね機械、航空機部品等 の製造及び販売
従業員数	512名
拠点	
本社・工場	〒488-8655 愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1 TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店	〒113-0034 東京都文京区湯島一丁目6番3号 TEL (03) 5805-6991
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号 TEL (06) 6368-6251
神戸工場	〒652-8585 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号 TEL (078) 651-3007

## ■取締役及び監査役 (2019年6月26日現在)

取締役社長	山口 央
専務取締役	阿比留 憲 史
常務取締役	安藤 充
常務取締役	夏目 季 佳
常務取締役	神谷 真 二
取締役	白石 憲 生
取締役	工野 浩 義
社外取締役	信崎 卓
社外取締役	尾形 昭 彦
常勤監査役	伊藤 康 裕
社外監査役	馬場 紀 彰
社外監査役	西野 充

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆さまに当社を知っていただくための各種情報を発信しております。

是非ご覧ください。

旭精機工業

検索



▲トップページ

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

## ■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)  
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上場市場 名古屋証券取引所(市場第2部)
- 証券コード 6111

## ■株式に関するお手続きについて

■各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
●住所・氏名等の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
●単元未満株式の買取・買増請求		
●配当金の受領方法の指定・変更		
●特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
●支払期間経過後の配当金に関するご照会		
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
●その他のお問い合わせ		

■三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

# 旭精機工業株式会社

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

